

「データは宝の山～IT 利活用は変革の源泉～」  
IT 利活用促進事業費補助金 公募説明会 実施報告（抄）

開催日：2018年5月28日（月）13:30～16:30

場 所：北海道経済センター 8階 Aホール

主 催：一般財団法人さっぽろ産業振興財団、札幌商工会議所

参加者：88社 107名

プログラムと内容概略（以下、敬称略）

1 開式挨拶



一般財団法人さっぽろ産業振興財団 事業本部長 佐久間 聖子

2 【基調講演】「IT 利活用は変革の源泉」



札幌学院大学 客員教授／戦略経営ネットワーク協同組合 理事長／ITコーディネータ  
赤羽 幸雄

○中小企業データの活用状況

- ・社内に蓄積されたデータを使用している企業は、使用していないところに比べ売上が高い
- ・中小企業で活用されているデータのトップ3
  - 財務、会計データ
  - 販売、生産履歴
  - 顧客の購入履歴データ
- ・活用されていないデータ
  - POS データ、IoT データなどは中小企業ではほとんどされない
- ・活用は生産性やマーケティングの改善向上といった守りのIT 活用がメイン
  - 新サービスの開発などの攻めの経営には繋がっていない
  - データ分析能力の不足で攻めのIT 経営に取り組めていない
- ・導入コストよりデータの蓄積プロセスを保持していないことが原因

- 国全体としてデータの利活用を経営に取り入れている企業が少ない
- データ活用の推進に向けた施策
  - ・データ連携事業
  - ・データ共有事業
    - データバンクの活用
  - ・IoT 投資の減税政策
  - ・公的なオープンデータの提供
    - 札幌市も行っている、地域性に富んだデータと自社のデータを活用することで、新しいビジネスの創出になる
- 地域性のあるデータ利活用の事例
  - 釧路の例
    - ・地方版 IoT 推進ラボの設立
      - 官民連携でビッグデータの収集や活用を行う
      - 観光・防災などの街づくり施策にデータを活用している
- 中小が取り組むべき活用法
  - ・足元を固めつつ、新しい技術を追いかける体制づくり
    - まずは社内の数字を見える化する
    - 管理されていないものは測定できない
- 国の支援内容紹介
  - ・共通 EDI（電子データ交換）方式によるデータ連携システムの実証
    - ペーパーレス、キャッシュレスを支援、受発注と決済まで完了させる環境を整える
    - 環境を整備することで、データを活かした経営基盤を準備することができる
    - IT 利活用がしやすい環境へ
- 最後に
  - ・ハードとソフトが融合した経営は必須
  - ・IT コーディネータといった専門家をうまく活用することも重要
  - ・補助金活用で IT の利活用を進め、生産性や経営改善を目指して欲しい

### 3 補助金活用事例紹介

#### ① 大真エンジニアリング株式会社<設備工事/電気工事関連>



大真エンジニアリング株式会社 代表取締役 大地 一洋（左）  
システムサービス課 課長 佐藤 英二（右）

#### 【事業背景】

- ・リーマンショック以降、受注競争が激化
- ・工事費抑制により、価格競争が激化し利益に繋がられない

#### 【自社の課題と対策】

経営基盤の強化のため、事業の対応領域を拡大

- ・業務ごとのシステムソフトやエクセルファイルで業務管理
    - 必要な情報へのアクセスが悪い
    - 業務への応答が遅れてしまう
- 業務プロセスの効率化と迅速な経営判断が必要に

#### 【システム概要】

工事原価管理ソフトの導入

#### 【導入後の変化】

- ・一つのソフトで業務管理ができるように
  - 業務へ必要な情報をすぐに取り出せるようになり、業務プロセスが効率化された
  - 予算進捗や原価把握をタイムリーに行えるため、経営指標分析が可能に
- ・外から社内情報にアクセスできるように
  - 現場からの問い合わせ対応が可能に
  - 日報入力のための非効率な帰社時間をなくすことができた

#### 【将来展望】

- ・現在のシステムの機能拡充と利便性向上に向けたブラッシュアップを行い、システムの強化を図っていく
- ・ITの利活用で新規事業領域の拡大と利益率の拡大を万進する

## ② モス物流プランニング株式会社<一般貨物運送/タイヤ配送保管関連>



モス物流プランニング株式会社 営業部 営業部長 近谷 典博

#### 【事業背景】

- ・業界全体が人手不足である
- ・事業領域の拡大が必要である
  - タイヤ保管サービス事業の開始

#### 【自社の課題と対策】

- ・電話、FAXで受付を行った
  - 大量の紙を使用するため、用紙代の支出が多い
  - 通信回線がパンクし、通信費も多く支出
  - ピーク時には専門の人員を割かないといけなくなった
  - 顧客管理用のエクセルでは対応できないほどのデータを抱えていた

#### 【システム概要】

Webタイヤ申し込みシステム

#### 【効果】

- ・Webでの申し込みのため、ペーパーレス化が実現
- ・通信費が10分の1に削減できた
- ・誰でも使えるシステムの簡便さによって、専門の人員を割かなくてもよくなった
- ・入力を顧客にしてもらうことで、顧客側で依頼の確認をできるようになった
- ・タイヤ保管業務の受注が増えた

#### 【補助金に対して】

・IT の利活用や設備投資になかなか踏み込めない事業者様へは、補助金を使用することで自社の経営解決につながり、道内経済活性の一翼を担って欲しい。

#### 4 「IT 利活用促進事業費補助金について」

一般財団法人さっぽろ産業振興財団 情報産業振興部 IT 推進課 IT 推進係長 佐々木 諭志

##### 1 平成 29 年度採択 4 社の活用事例説明

- ・各社の活用事例から見えること→自社の経営課題（壁）を正しく認識すること、  
その上で解決→壁を超える

##### 2 目的・概要

- ・ 条件と対象  
自社の経営戦略の実現、経営課題の解決、経営目標の改善や達成のために IT を利活用  
申請対象：札幌市内に本社がある中小企業（または企業グループ）  
補助対象：IT 利活用に直接的に係わる経費支出（設備備品費+事業費）  
発注先：札幌市内に本社がある中小 IT 企業
- ・ 応募に必要なもの  
申請書（どのような IT システムを導入して、どう利活用し、経営課題を解決するのか、システムや機器の構成図、想定している利用方法、経営課題や指標の改善効果について、具体的な数値目標を示しながら、IT 投資の効果や Before と After とを対比させて課題を解決して成功に向かうストーリーを描く）  
見積書（消費税の課税前の本体価格ベースで申請）  
登記簿謄本、直近の決算書、納税証明書  
自己資金の調達（補助金以外）
- ・ 審査  
書類審査＋追加審査を実施（8月29日実施予定／該当者のみ）。  
<配布資料及び口頭説明で8月28日とお伝え致しましたが、8月29日の誤りでございます>
- ・ 本補助金に向けた支援  
① IT コーディネータ派遣を 5/14 から実施  
あるべき IT 利活用の姿を明確化すべく、経営と IT 技術の両面に強い IT コーディネータを派遣（1回2時間程度、最大3回まで。初回は無料、2回目以降申請者の一部負担あり）。  
詳細は、右記参照⇒<http://www.sec.or.jp/elecen/it-business4.html>  
② 補助金申請に関する全般的な相談  
→エレクトロニクスセンター サテライトオフィス（電話：011-814-5021）まで
- ・ 経営革新・課題解決に札幌地場の IT 企業とコラボしてほしい  
「IT 利活用」という形での札幌の企業間での協業を推進する思いがある。
- ・ 公募要項・申請書類は右記参照⇒<http://www.sec.or.jp/elecen/it-business.html>

#### <公募説明会の模様>







## 5 個別相談及び総括



セミナー終了後、個別相談を実施致しました。

主な相談内容については、事業内容が補助対象事業となるか、自社は補助申請が可能か、発注先（市内IT企業）の条件の確認や調達方法などでした。それと併せて、この補助金申請を目的としたITコーディネータの派遣支援についても興味を示す企業が多く、個別相談に来られた企業さんやアンケートの回答などにより9社から派遣希望が出ている状況です。

皆様のビジネスに効果のある素晴らしい利活用事例が本補助金をきっかけに生まれることを期待しております。

以上